

学期	月	単元	評価基準・評価方法			ICTの活用
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	4	3	<p>体づくり運動 (体ほぐし運動 体力を高める運動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出ししたりしている。 実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であることについて、言ったり書き出ししたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や(仲間)の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。 課題を解決するために仲間と話し合う活動を行い、最適な練習方法や課題解決に向けた方法を仲間へ伝えている。 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 一人一人に応じた動きなどの違いを大切にしようとしている。 自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献しようとしている。 健康・安全を確保している。 	タブレット端末
	5	6	<p>陸上競技 (短距離走・リレー 走り高跳び・ハードル走)</p> <p>短距離走・リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。 後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ることができる。 リレーでは、次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めることができる。 <p>走り高跳び</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムカルな助走から力強い踏み切りに移ることができる。 跳躍の頂点とバーの位置が合うように、自己に合った踏切位置で踏み切ることができる。 脚と腕のタイミングを合わせて踏み切り、大きなはさみ動作で跳ぶことができる。 <p>ハードル走</p> <ul style="list-style-type: none"> 速くから踏み切り、勢いよくハードルを走り越すことができる。 抜き足の膝を折りたたんで前に運ぶなどの動作でハードルを越すことができる。 インターバルを3又は5歩でリズムカルに走ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間へ伝えている。 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。 	タブレット端末
	5	6	<p>ダンス (創作ダンス)</p> <p>〇知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ダンスの交流や発表の仕方には、簡単な作品の見せ合いや発表会などがあること、見る人も拍手をしたりリズムをとるなどしたりして交流し合う方法があることについて、学習した具体例を挙げている。 自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズムカルな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出ししたりしている。 <p>〇技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、弾む動きをしたりして自由に踊ることができる。 リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。 リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 作品創作などについての話合いに貢献しようとしている。 一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。 	タブレット端末
6		<p>球技 ベースボール型 (生徒の発達段階に応じて)</p> <p>〇知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の各型において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出ししたりしている。 練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 <p>〇技能</p> <p>〈基本的なバット操作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 投球の方向と平行に立ち、肩越しにバットを構えることができる。 地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。 <p>〈走塁〉</p> <ul style="list-style-type: none"> スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。 打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。 <p>〈ボール操作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。 投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げるができる。 守備位置から塁上へ移動して、味方からの送球を受けることができる。 <p>〈定位置での守備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。 各ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの基本的な動きをす 	<ul style="list-style-type: none"> 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間へ伝えている。 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法を見付けている。 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 作戦などについての話合いに貢献しようとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 健康・安全を確保している。 	タブレット端末	

1	7 9	水泳 (4泳法、長く泳ぐ)	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 <p>○技能 [泳法]</p> <p>クロール</p> <ul style="list-style-type: none"> 水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。 <p>平泳ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> 肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。 プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり、1回のストロークで大きく進むことができる。 <p>背泳ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> 水面上の腕は肘を伸ばし、肩を支点にして肩の延長線上に小指側からまっすぐ入水することができる。 一連のストロークで、肩をスムーズにローリングさせることができる。 <p>バタフライ</p> <ul style="list-style-type: none"> 腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き(ロングアームプル)で進むことができる。 手の入水時のキック、かき終わりの時のキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 <p>複数の泳法で泳ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで学習したクロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの4種目から2~4種目を選択し、続けて泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 各泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 (バディ)やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに水泳を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 水泳の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 水の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保している。 	タブレット端末
2	9 10	ネット型 (生徒の発達段階に応じて)	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出ししたりしている。 球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、言ったり書き出ししたりしている。 球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 <p>○技能</p> <p>〈ボールや用具の操作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> サーブスでは、ボールやラケットの中心付近で捉えることができる。 味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。 相手側のコートの中を空いた場所にボールを返すことができる。 <p>〈定位置に戻るなどの動き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。 プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 作戦などについての話合いに参加しようとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 健康・安全に留意している。 	タブレット端末
	9 10	陸上競技 (長距離走)	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の各型において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、言ったり書き出ししたりしている。 練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 <p>○技能</p> <p>ゴール型</p> <p>〈安定したボール操作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 味方が操作しやすいパスを送ることができる。 守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。 <p>〈空間を作りだすなどの動き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 ボール保持者が進行できる空間を作りだすために、進行方向から離れることができる。 ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。 ゴール前の空いている場所をカバーすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法を見付けている。 球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 作戦などについての話合いに貢献しようとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 健康・安全を確保している。 	タブレット端末

2	12	<p>武道 (柔道)</p>	<p>○知識 ・武道を学習することは、自国の文化に誇りをもつことや、国際社会で生きていく上で有意義であることについて、言ったり書き出したりしている。 ・武道には、各種目で用いられる技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・武道では、攻防に必要な補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・試合の行い方には、簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>○技能 柔道 〔基本動作〕 ・姿勢と組み方では、相手の動きの変化に応じやすい自然体で組むことができる。 ・崩しでは、相手の動きの変化に応じて相手の体勢を不安定にし、技をかけやすい状態をつくることができる。 〔受け身〕 ・相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身、前回り受け身をとることができる。 〔固め技〕 ・取はけさ固めをかけることができる。 ・取は横四方固めをかけることができる。 ・取は上四方固めをかけることができる。 ・受けは固め技に対して逃げるができる。 〔投げ技〕 ・取は大腰をかけて投げ、受は受け身をとることができる。 ・取は体落としをかけて投げ、受は受け身をとることができる。 ・取は膝車をかけて投げ、受は受け身をとることができる。</p>	<p>・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返っている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに武道を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p>	<p>・武道の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。</p>	<p>タブレット端末</p>
1		<p>ダンス (現代的なリズムのダンス) LOCK</p>	<p>○知識 ・ダンスの交流や発表の仕方には、簡単な作品の見せ合いや発表会などがあること、見る人も拍手をしたりリズムをとるなどしたりして交流し合う方法があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズムカルな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>○技能 ・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、弾む動きをしたりして自由に踊ることができる。 ・全身でビートに合わせて弾んだり、ビートのきいたブレイクダンスでは膝の上下に合わせて腕を動かしたりストップするようにしたりして踊ることができる。 ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。 ・リズムや音楽に合わせて、独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊ることができる。</p>	<p>・グループに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。 ・ブレイクダンスの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p>	<p>・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の手助けをしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・簡単な作品創作などについての話合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。 ・健康・安全に留意している。</p>	<p>タブレット端末</p>
3	2 3	<p>器械運動 (マット運動・跳び箱運動)</p>	<p>○知識 ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、学習した具体例を挙げている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・発表会での評価方法、運営の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>○技能 マット運動 〈回転系〉 《接転技群(背中をマットに接して回転する)》 ・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方、回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ることができる。 ・開始姿勢や終末姿勢、組合せの動きや支持の仕方などの条件を変えて回ることができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回ることができる。 《ほん転技群(手や足の支えて回転する)》 ・全身を支えたり、突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくするための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転することができる。 ・開始姿勢や終末姿勢、支持の仕方や組合せの動きなどの条件を変えて回転することができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回転することができる。</p> <p>跳び箱運動 〈切り返し系〉 《切り返し跳びグループ(跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す)》 ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着手する動き方、突き放しによって直立体勢に戻して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。 ・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</p> <p>〈回転系〉 《回転跳びグループ(跳び箱上を回転しながら跳び越す)》 ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方、突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。 ・着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。</p>	<p>・技の行い方や技の組合せ方について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいく。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・器械運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p>	<p>・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・自己の状況にかかわらず、互いに譲り合おうとしている。 ・仲間と課題を伝え合ったり補助し合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。</p>	<p>タブレット端末</p>

通年	保健	①傷害の原因と防止 多くの傷害は、心身の状態や行動のしかたなどの人的要因と、生活環境における施設・設備の状態や気象条件などの環境要因が関わり合って発生することを理解している。	傷害の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	傷害の発生要因とその防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	タブレット端末
		②交通事故の現状と原因 交通事故による傷害を防止するには、車両の特性を知り、交通法規を守り、心身の状態を把握し、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じて、安全に行動することが必要であることを理解している。	交通事故の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	交通事故の発生要因とその防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		③交通事故の防止 個人としては交通法規を守ること、社会としては安全な環境づくりが事故を防ぐことを理解している。	交通事故の防止について、危険予測・危険回避の方法や定期的な車両点検を考えているとともに、それらを表現している。	交通事故の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		④犯罪被害の防止 犯罪被害の要因は、人的要因や環境要因などが関わり合っており、人的要因に対しては、危険を予測し、判断して、犯罪を避ける行動をとること、環境要因に対しては、周囲の人の関心を高めることなどの対策があることについて理解している。	犯罪被害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	犯罪被害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		⑤自然災害に備えて 自然災害による傷害には地震、台風、大雨、竜巻、火山の噴火、落雷、大雪などによるものと、それに伴って発生する二次災害によるものがあること、日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、災害情報を正確に把握すること、災害時には周囲の状況を的確に判断し、冷静かつ迅速に行動する必要があることを理解している。	自然災害による傷害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	自然災害による傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		⑥応急手当の意義と基本 傷害が発生した際に、その場に居合わせた人が応急手当をすることで、傷害の悪化を防止しできること、心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当としては、心肺蘇生法があることを理解している。	応急手当の意義や目的、手順について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	応急手当の意義や目的、手順についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		⑦きずの手当 ・出血があるときの応急手当の基本や方法について理解し、正しい応急手当の方法を身に付けている。 ・打撲傷などの外傷の応急手当の基本や方法について理解し、正しい応急手当の方法を身に付けている。	出血・外傷があるときの応急手当について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	出血・外傷があるときの応急手当についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		①生活習慣病とその予防 生活習慣病は、日常の生活習慣が主な要因となって起こること、また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、喫煙や過度の飲酒をしない、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることによって予防できることを理解している。	生活習慣病とその予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	生活習慣病とその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		②がんの予防 がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する病気であり、その要因には様々なものがあること、がんの予防には、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解している。	がんとその予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	がんとその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
		③喫煙と健康 たばこの煙の中の有害物質により、喫煙すると毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病など様々な病気を起こしやすくなることを理解している。また、未成年者の喫煙は、体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいことを理解している。	喫煙と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	喫煙と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
④飲酒と健康 飲酒をすると、エチルアルコールによって思考力、自制力、運動機能が低下したり、事故などを起こしたりすること、急激に大量の飲酒をすると、急性中毒で死に至ることもあることを理解している。また、常習的な飲酒により、肝臓病や脳の病気など様々な病気を起こしやすくなること、未成年者の飲酒は、体に大きな影響をおよぼし、依存症になりやすいことを理解している。	飲酒と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	飲酒と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。			
⑤薬物乱用と健康 薬物を乱用すると激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きること、家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることを理解する。	薬物乱用と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	薬物乱用と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。			
⑥喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があることを理解している。	喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけについての学習に自主的に取り組もうとしている。			
①運動やスポーツの効果 運動やスポーツは、体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果およびルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解している。	運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果についての学習に積極的に取り組もうとしている。			
通年	体育理論	②運動やスポーツの学び方 運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解している。	運動やスポーツの学び方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	運動やスポーツの学び方についての学習に積極的に取り組もうとしている。	
		③運動やスポーツの安全な行い方 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解している。	安全な運動やスポーツの行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	安全な運動やスポーツの行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。	
		③人々を結び付けるスポーツ スポーツは、民族や国、人種や性、障がいの違いなどをこえて人々を結び付けていることを理解している。	人々を結び付けるスポーツについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	人々を結び付けるスポーツについての学習に自主的に取り組もうとしている。	
評価方法		・ノート提出	・ノート提出		
		・活動の状況 ・宿題の提出状況	・活動の状況 ・宿題の提出状況		